

吊り金物の磁粉探傷試験



クレーン作業用の金物にも非破壊検査を！！

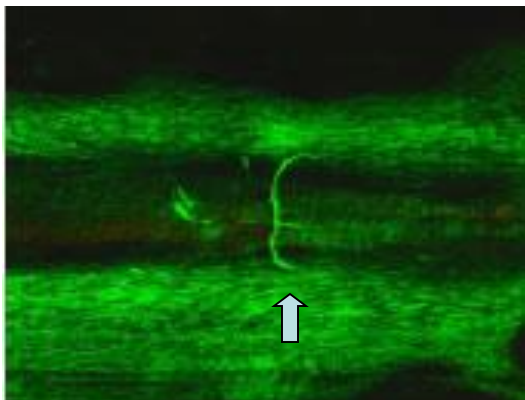
クレーン玉掛け作業に使用されるシャックル・アイボルトなどの吊り金物に実施されている法定月例点検、それだけで安全確保は十分とお考えですか？

目視点検では見えなくても割れが発生していた事例があります、そのような欠陥を精度よく検出できる磁粉探傷試験で年1～2回程度、吊り金物を検査される事を推奨いたします。



磁粉探傷試験の特徴

- ①目視で見えない欠陥も精度よく検出できる。
- ②小型可搬式装置でお客様の指定場所に出向いて検査できる。
- ③数十個～数百個／日の検査量で検査できる。
- ④大型吊り治具では重要部位だけの部分的な検査も可能。
- ⑤非破壊検査専門会社の公的資格者による確実な検査。



目視では発見できない割れの検出例

過去の欠陥検出例

長年使用した、20トン用S環の約1/3周に疲労割れが発生していた事例。

製造時の欠陥が散在する粗悪なシャックルを発見した事例。

自社で作成された専用吊り治具の溶接部に割れが発生していた事例。